

第5回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会が

「効率的な地域連携を目指して」をテーマに開催されました

地域医療連携・患者支援部

平成28年2月6日（土）、ホテルマイステイズ宇都宮において、自治医科大学附属病院主催、栃木県医師会・栃木県歯科医師会の後援により「第5回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催されました。当日は、事前受付を上回る予想以上の参加者が集まり、県内外の地域医療に関わる医師・歯科医師・看護師・その他医療技術系職員や連携業務に携わる方々に院内参加者を含め、122名の参加がありました。

佐田病院長の開催挨拶と共に、「附属病院の現況と地域医療連携」についての講演に続いて本年度のテーマ「地域医療連携の実践と展望」について自治医科大学地域医療学センターの梶井センター長を座長として、専門的な立場における演者の講演が行われました。

始めに、トータルクリニック寺門医院の寺門道之院長が「開業医の立場から」と題して、開業医からの適切な情報提供が病院において適切かつ効率的な診療に繋がることについての講演がありました。

次に、当病院腫瘍センターの藤井博文教授から「がん診療医の立場から」と題して、医療提供者の変化も見越してそれに対応できる体制の整備が必要との講演がありました。

続いて、君島歯科医院の君島充宣院長から「訪問歯科診療の立場から」と題して、要介護者の口腔機能の保持等により健康寿命の延伸に寄与できる旨の講演がありました。

引き続き、とちぎ訪問看護ステーションおやまの永井恵子所長から「訪問看護の立場から」と題して、在宅療養者や家族のよりよい生活の実現を図るために活動している旨の講演がありました。

最後に長田地域医療連携・患者支援部長から、今後も時宜を得たテーマによる研究会を企画・開催したいとの発言により終了しました。

また、研究会終了後開催された交流会では、各医療機能を有する機関で活躍されている方々のお話も交えて、職種を超えたコミュニケーションが取れ、地域連携の大きな輪が広がりました。



講演会